

## 平成30年度第2回霞ヶ浦自然観察会実施結果報告

「桜川で一日漁師になろう」を実施しました。

日 時：平成30年6月9日（土）午前9時30分から午後4時まで

場 所：つくば市松塚地先の桜川

参加者：28名

結 果： 前々日の降雨で桜川の水位が上昇しましたが、その後下降して実施が可能になり、当日は晴れの天候に恵まれ、気温も30℃に達し、水辺の観察会としては絶好の日となりました。

桜川の河川敷で、桜川漁業協同組合の鈴木組合長より桜川の現状や漁業協同組合活動などについて話をうかがいました。その中で、桜川には27種ほどの魚類がいて、昔はシジミもたくさん採れたこと、その魚がアメリカナマズとカワウにより食べられ困っていること、アメリカナマズは6月に釣り大会を行い駆除しているが、100kgも捕れること、また、アメリカナマズの胃袋を開けると魚の他にモグラやカメが出てきたことなどを興味深く聞きました。ほかに、漁協の活動として、毎年フナやワカサギの稚魚を放流していること、四つ手網でアユの仔魚を捕り、魚道がない田土部堰の上流に持って行っていることなどを聞きました。また、魚を捕る様々な仕掛けも見せていただきました。

その後で、組合長さんに投網を見せていただき、捕れたオイカワなどの魚を観察しました。子供達はいよいよ待望の川に、たも網を持って入り、魚とりをしました。用意していただいた小さな四つ手網も使い、ウキゴリなど小さな魚を捕って大はしゃぎしていました。また、なかなかうまく開きませんでした。組合長さんに投網を教えてください、体験しました。

数少なくなった手押しポンプの付いた井戸があり、昼休みに、子供たちは一生懸命にポンプを動かし、水を汲み上げ、冷たい井戸水で遊んでいました。

午後にもう一度川に入り、魚とりの続きを行い、さらに川舟にも乗せていただき、優雅に川遊びを楽しみました。また、大きな四つ手網が上がるのも見ました。

今回の観察会は子供たちにとって魚とりだけでなく、手押しポンプ井戸や川舟など初体験することがあり、楽しい一日を満喫したようでした。また、大人の参加者も生き生きとした子供の姿が見られたことで満足していたようでした。

### 観察した魚類

カマツカ、ヌマチチブ、ヨシノボリ、ウキゴリ、オイカワ、スジエビ、テナガエビ

次に観察会の様子を紹介します。

(腰塚昭温)



組合長さんのお話



捕れた魚の説明



たも網での魚とり



投網の体験



魚つかめるかな



川舟の体験



四つ手網の引き上げ



オイカワ